

平成24年度 第1回 文学部学生・教員懇談会概要

1. 日 時 平成24年6月12日（火）12時10分から12時50分まで
2. 場 所 法経学部第一会議室
3. 出席者 学生：21名

学部：19名

山田学部長、石井評議員、神戸学生委員長、水上学生委員会(教員学生懇談会担当)、趙学生委員、土田留学生委員長、吉田留学生委員、高留学生委員、大峰留学生委員、若林行動科学科学科長、上村史学科学科長、梶田国際言語文化学科学科長、田口教務委員、高木情報委員長、菅野広報委員

鈴木文学・法経学部事務長、酒井学部学務グループ専門員、宮地専門職員、久保学部学務グループ係員

本部：6名

齋藤学長、市川教務課長、庄司図書館学術コンテンツ課専門員、堀切教務課副課長、塚瀬教務課副課長、増田学生支援課副課長

留学生からの質問

Q 卒業証明書、成績証明書の発行手続きでは、海外からメールでの申し込み、郵送ができるようにしてほしいこと、国によって就職活動の時期が異なるので、卒業後でも複数枚証明書を発行してほしい。

A 海外からのメールでの申し込みは、本人確認ができないなどの理由で受付はできません。また、郵送の費用は本人負担となるが、国によって郵便料金が異なるなどの理由で海外への郵送をしていません。申請時は、日本に居住している知人等が代理人となり、手続きをしてもらうこととなります。なお、その際は申請者本人が作成した委任状が別途必要となります。(学部学務グループ)

A 卒業証明書・成績証明書を複数枚必要とする場合、事前に申し込みをすることで、卒業式当日に交付することができますので、帰国後に就職活動等にご活用ください。ただし、申請時に具体的な提出先を明記する必要があります。(学部学務グループ)

Q 復学許可書に西暦を入れてほしい。それができなければ、送付文書に西暦を記載したものを添付してほしい。

A 復学許可書の様式は定まっているので、西暦を記入することはできない。復学許可書を郵送する際に、同封する送付文書（添書）に西暦を入れることは可能です。

(学生部教務課・学部学務グループ)

Q 復学許可書については、必要に応じ再発行できるようにして欲しい。

A 復学許可書の再発行はしないので、必要に応じ証明書を使用してください。なお、対応ができない時は、窓口にご相談してください。(学生部教務課)

Q 留学生ガイダンスの際、証明書の保管に注意するように周知して欲しい。

A 4月の留学生ガイダンスの際、留学生に周知徹底を図ります。
(学部学務グループ)

○ 教員からの要望

◆ 入国管理局でのビザの更新等手続きにおいて、提出した書類が原本ではなく、複写ではないかとの理由で更新手続きができなかったため、更新できるようにして欲しい。

A 千葉大学が発行する書類を受理してもらうように入国管理局(千葉出張所)へ要望しました。(学部学務グループ)

○ 教員からの要望

◆ 指導する留学生が多い教員にとっては、かなり負担がある。

◆ 教員は保証人欄にも署名しなければならないことがあり、負担になっている。

◆ 申請手続きについて、審査の実態に合わせて、必要書類を精査するなど申請・必要書類を簡素化して欲しい。

A 授業料免状の申請書様式・提出書類について、検討します。(学生部学生支援課)

◆ 社会人の授業料免除について、実態に合わせて適用を改善して欲しい。

A 独立生計学生の家計状況については、年間の収入と支出で審査することになっています。また、独立生計を認めるかどうかについては、学生支援課で慎重に審査しています。
(学生部学生支援課)

Q 社会人入試で入学したが、既修得単位認定申請の手続きは、入学手続き時に行われるが、入学後一定期間経過した後も申請することを認めて欲しい。

A 全学的な問題であり、文学部では解決できないことなので、関係する普遍教育に話をします。既修得単位認定に関しては、日本文化学科では入学前でも相談できるような環境を用意しています。

A 7月17日（火）開催の普遍教育委員会で検討要請をしました。 普遍教育センターでは9月の会議で検討することになりました。

Q ジャパンナレッジを利用する際、人数制限があるので、上限の人数を増やして欲しい。

A ジャパンナレッジについては、コンテンツを増やすことによって、2名になりました。限られた予算の中でやっていますが、調査を行ったうえで、人数を増やすことが可能かどうか検討します。（附属図書館学術コンテンツ課）

Q 千葉大学文学部として、博物館・美術館のメンバーシップに加入して欲しい。

A 費用負担の問題もあるため、十分な利用状況の見込みが立たない限り、文学部が単独で博物館・美術館等のメンバーシップに加入することは現状では困難です。（文学部）